

ど ころ
土光ひとし

これだけは！ 3つの政策



後援会のしおり

討議資料

これだけは！ 3つの政策



🌱 米子から脱原発！

- ・ 島根原発の稼働を許さない

🌱 淀江の産廃処分場計画 白紙撤回！

- ・ あの場所はダメでしょ

🌱 どこまでも市民派！

- ・ 市民の常識を、議会に持ち込む
- ・ 市政の情報を市民の手に



市民とともに jump



米子から脱原発！

- P1** 私たちはすで原発のない社会で暮らしています
- P2** 島根原発が事故を起こすと私たちの生活が根こそぎ奪われます
- P3** 米子市民が「再稼働No！」の意思を明確に示せば島根原発の再稼働はできないでしょう
- P4** 脱原発の社会を子ども達に引き継ぐことは、私たちの世代の責任です。
エネルギーの未来を見据えます

淀江の産廃処分場計画白紙撤回！

- P5** 私たちの命の源である大山の地下水系の中での産廃はダメ
- P6** ダブルブッキング
一廃処分場用地が産廃処分場用地に
- P7** 一廃はもうすぐイッパイだ！
産廃計画用地は米子市民にとって必要な土地だ

どこまでも市民派！

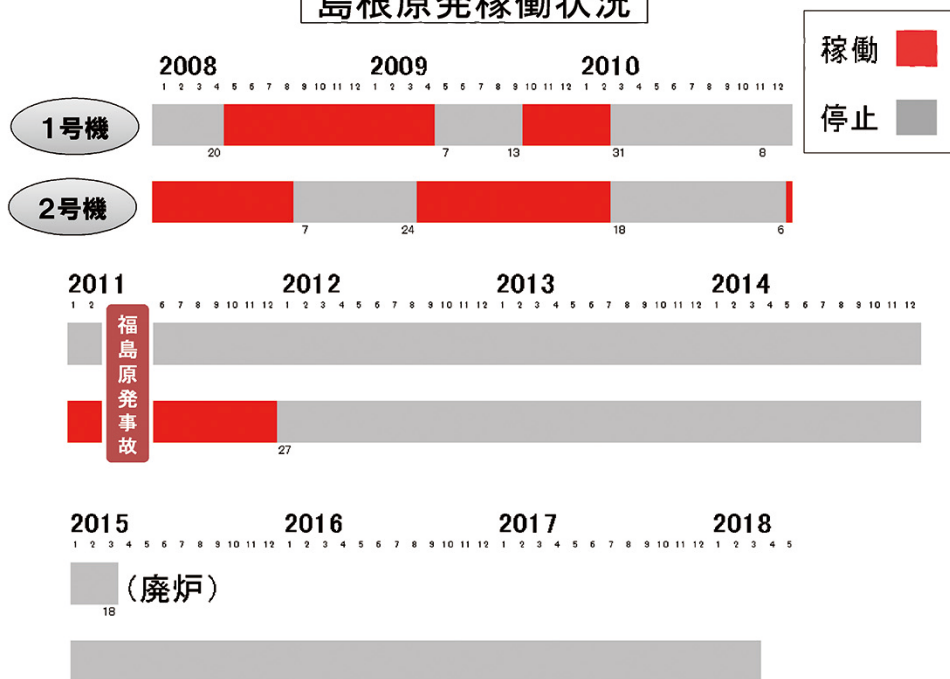
- P8** 議席撤去の計画を「撤去」させました
市民の常識を議会に持ち込みます
- P9** 市政の情報は、市民のものです
市の情報を市民共有の財産とします
ガラス張りの議会を目指します

米子から脱原発！

①

私たちはすでに原発のない社会で暮らしています

島根原発稼働状況



★3号機は建物は完成しているが未稼働の状態

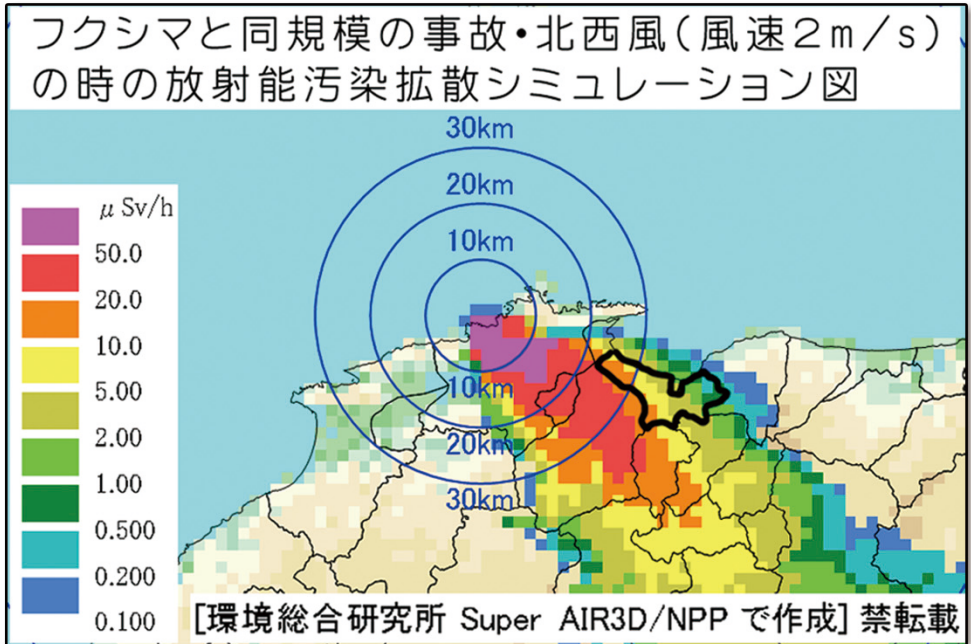
2012年1月から
島根原発は動いていません。
原発のない社会は7年目を迎えています。
私は、この流れを確かなものにしていきます。

米子から脱原発！

②

島根原発が事故を起こすと

私たちの生活が根こそぎ奪われます



もう少し西向きの風が強ければ **米子市**
全域は放射線量が平常値のほぼ200
倍となり、全村避難を強いられた福島県
飯舘村と同じ状況となります。

米子から脱原発！ ③

米子市民が「再稼働No！」の意思を明確に示せば。島根原発の再稼働はできないでしょう



Q どうやって「意志」を示すのですか？

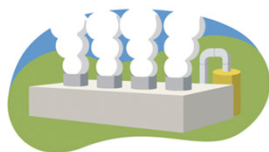
A 島根原発再稼働の賛否を問う「住民投票」です。そのためには議会で条例を作る必要があります。

Q 米子市は「原発立地自治体」ではないですが？

A 中国電力は「立地自治体と実質的に同等の扱いをする」と明言しています。

米子から脱原発！ ④

脱原発の社会を子ども達に引き継ぐことは、私たち世代の責任です
エネルギーの未来を見据えます



太陽光発電	地熱発電
風力発電	バイオマス発電
水力発電	

鳥取県は、かつて原発誘致の話が持ち上がった時「原発のないふるさと」実現させた輝かしい歴史があります。

なくて誇れるもの、それが「原発」です。

米子市は、エネルギーの地産地消を目指しています。それは、原発の電気に頼らない社会です。

再生可能エネルギーによるまちづくり。

私は、この動きを加速させます。

淀江の「産廃処分場計画」白紙撤回！

私たちの命の源である大山の
地下水系の中での産廃はダメ

⑤



福井配水池



天の真名井



小波上の泉の
水汲み場



本宮の泉



米子市が整備した
小波上の泉の駐車場



産廃処分場は、水源地の上流に造ってはなりません。処分場下の地下水が、淀江町民の水源地（福井水源）、小波上の泉に流れてくる可能性があります。

淀江の「産廃処分場計画」白紙撤回！

ダブルブッキング

⑥

一廃処分場用地が産廃処分場用地に



産廃処分場計画地は(赤い枠)は、もともと淀江町時代に、一般廃棄物処分場(青丸)として整備が進められてきた場所です。

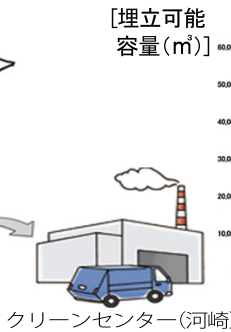
いま、一廃はタイヘンな状況です。

淀江の「産廃処分場計画」白紙撤回！

一廃はもうすぐいっぱいだ！

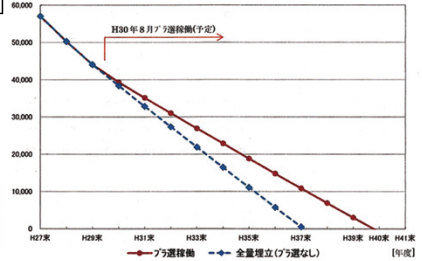
⑦

産廃処分場計画地は米子市にとって必要な土地だ



[埋立可能
容量(m³)]

最終処分場使用年限



クリーンセンター(河崎)



10年後には
残容量 0



一般廃棄物最終処分場(淀江町)

今使っている一般廃棄物処分場

あと10年で満杯になることがわかっています。次の新たな処分場はこれから探すという状況です。産廃処分場計画地は、すぐにでも一廃処分場用地として使えます。

いずれにしても、「ゴミ問題」は、私たちの生活に大きく関わる問題です。私はこれらの問題を市民の視点から、市民とともに、考え続けていきます。

私は、「**ゴミ議員**」を目指します。

どこまでも市民派！⑧

議席撤去の計画を「撤去」させました
市民の常識を、議会に持ち込みます



議員の非公開の会議で「議場の見栄えが悪い！」との意見が出され、市税150万円で議席のテーブル・イス撤去工事の話が！

このことを私は市民に公表し、マスコミも取り上げ、市民からは「議会の常識は市民の非常識」との声。結果、このための予算計上は見送られました。

どこまでも市民派！⑨

市政の情報は、市民のものです

市の情報を市民共有の財産とします

ガラス張りの議会を目指します

2016年2月12日西部広域行政管理組合「正副管理者会議」の
公開された議事録

うと。その動向を確認しながら手続きを進めていきたいということでした。ちなみに本省に今回会計検査が入りますのが、今月の25、26の2日間入る予定で、改めて会計検査の方がどのような対応をされるのかということもありますが、それを見守りながら年度内には正式な結論ができて手続きを進めるということになろうと思っております。次に2点目でございますが、最終処分場の状況についてでございますが、この説明については、安藤環境資源課長から説明します。

事務局環境資源課長の安藤でございます。よろしく申し上げます。■■■■

これは公開の会議の議事録。情報公開してみると、黒塗りで出されました。

そんなバカな！

ということで、現在不服審査請求中。

「情報は市民のもの」を貫きます。

推薦します・応援します！

推薦します

福島浩彦（元我孫子市長・元消費者庁長官）



「私はこんな暮らしをしたい」という市民一人一人の思いから出発し、皆で話し合い、合意を作り、その合意に基づき社会を築くのが自治です。議会も、市長も、行政もそのための道具です。そして市民一人一人の思いから出発した時、「経済成長＝国民の幸せ」という公式とは違った豊かさが見えてきます。この豊かさこそ、これからの地域づくりの原動力です。

自治を進めるには、「私に任せろ」と言う議員はNG。「一緒にやろう」と言う議員を選ぶことが大切です。万一誰かに任せる場合も、「一緒にやろう」の議員に任せたいです。この姿勢を米子市議会が一番持っているのは間違いなく土光さんでしょう。ご活躍を心から期待しています。

新田ひとみ（島根原発3号機差止訴訟の会共同代表）

市民派議員としてこの4年間市民目線で議会活動をしてこられました。

島根原発の問題、産業廃棄物・一般廃棄物処分場の問題、贈収賄事件、南北通路について等々市民の暮らしに直結する問題・課題を真正面から取り組んでこられた実績があります。これらの問題の多くは継続しています。

市民目線で議員活動をする土光さんに議会で活躍してもらうために応援します。

推薦します・応援します！

安田寿朗（弁護士）

私は、島根原発第3号機運転差止訴訟弁護団の共同代表です。しかし、淀江産業廃棄物処分場設置に必ずしも反対の立場ではありません。産業廃棄物が無秩序に放置され、環境を広く汚染するのを防ぐためには、現段階では、むしろ良く整備された最終処分場が必要不可欠だと考えています。最良の処分場を設置させるためには、市民を代表した厳しい監視の目が必要です。

土光さんは、正義感と厳しい監視の目を備え持っておられ、市議会議員に最適の方と考えます。そして、様々な立場の市民にとって議会に必要な存在です。

私たちも応援します ————— (50音順)

芦原 康江(島根原発差し止め訴訟原告団長)、足立 薫・絹子(NPOワークショップ・アクティブ)、雨宮 美菜子(ワシントンDC在住)、安藤 月子(市民)、石田 宏明(淀江町)、石田 正義(鳥取短期大学名誉教授)、稲田 圭将(フリーランス)、奥定 薫(奥定数学塾)、小椋 あけみ(境港市主婦)、影谷 辰美(農業)、片山 望(米子市主婦)、加藤 洋子(米子市民)、門原 温子(医師)、門脇 邦子(米子市民)、河本 六美(淀江町)、斎藤 敏行(牧師)、沢田 欣子(フリーライター)、重成 真(会社員)、菅沢 則夫(按摩師、介護福祉士)、瀬戸川 和彦(木地師)、立林 真己(自営業)、田上 和子&西林 いずみ(拡大写本グループ eyeキャン)、(続く)

推薦します・応援します！

私たちも応援します（続き）

田部 俊比古(医師)、田部 慈子(医師)、土井 淑平(元共同通信記者)、永栄 恵二(鳥取県西部原発反対の会)、長尾 泰彦(国労米子地方本部 元書記長)、中川 ユミ子(米子市政研究会会員)、中川 良久(淀江町)、長廻 治雄(大山ふもとの自然環境と米子の水を守る会)、成田 公一(米子歌人協会顧問)、西村 直美(会社員)、藤井 あゆみ(藤井システムサービス)、松井 昌子(米子市民)、松本 薫(作家)、松本 熙(境港市会議員)、森田 多賀枝(高次脳機能障害者家族会)、森本 富士子(えねみら・とっとり)、山中 幸子(原子力防災を考える県民の会)、山ノ内 芳彦(木工家)、山本 珠子(鳥取夫婦別姓と女性の地位向上を考える会員)、湯浅 勲(鳥取大学医学部特任教授)、吉岡 古都(薬剤師)、吉岡 英子(介護福祉士)、吉岡 太祐(医師)、和久利 博恭(元NTT職員)、和田 典子(米子市民)、渡部 兼直(詩人)、渡部 容子(元高校教員)

市民派って何ですか？

- ・選挙資金はみんなで出し合い、ボランティアの運動員による手作り選挙がモットーです。
- ・利害団体などのしがらみがないので、市民の意見を直接議会へ持ち込めます。
- ・「市民共有の議席」として活動報告(「かわらばん」)を発行し議会の様子や活動を報告します。
- ・市民の代弁者であることを自覚し、あらゆる機会を通じて市民との意見交換に努めます。

土光ひとしのプロフィール

■1954年生まれ。「めざしの土光さん（土光敏夫元経団連会長）」は同じ村内（むらうち）。高校まで岡山市で過ごす。

■「ヒコー少年」が高じて、名古屋大学工学部航空学科へ（中退）。水俣病をはじめとする公害問題に直面し「技術と人間」のあり方を考えるようになる。「名古屋水俣病告発する会」、「反原発きのこの会」等で活動。

■1982年、学生時代に知り合った連れ合いの実家がある米子市・淀江町に居を移す。戸籍上の姓は「高島」だが、普段の活動は旧姓の「土光」でしている。

■「鳥取県西部原発反対の会」、「米子市政研究会」の活動に参加。故中川健作さんとは以来ともに活動。鳥取県中部の方面(かたも)地区のウラン残土撤去運動に関わる。

■淀江町が米子市と合併する際、「町民ひとりひとりが合併問題を考える会」を立ち上げる。合併後、地域審議会の公募委員を1期務める。

■自治基本条例制定のための「検討委員会」の委員として「常設型住民投票条例」に道を開く素案の作成に関わる。しかし、その後の条例には反映されず。

■岡山科学技術専門学校保護者会

会長を務める（2013年）。

■現在、「さよなら島根原発ネットワーク」共同代表、島根原発1・2号機差止訴訟原告、3号機差止訴訟原告&事務局、「米子市政研究会」代表、「住民目線で政治を変える会・山陰」事務局、米子市議会議員。

■著書「脱原発、年輪は冴えていま」「地方自治のあり方と原子力」

（ともに共著:七つ森書館）

■淀江町在住。連れ合い、子ども：1男2女の父。

土光ひとし後援会事務所

〒683-0834 米子市内町53

TEL：0859-33-6475

FAX：0859-23-0268

（淀江連絡所）

〒689-3402 淀江町淀江553-4

TEL：0859-56-3339

FAX：0859-56-2905

E-mail：dokohitoshi@my-s-pace.jp

HP：http://dokohitoshi.mimoza.jp



HP



FB